

第10回定期演奏会 (2013.9.8)

実行委員会 (第2回) 議事録

日時 2012年12月8日 (土) 15時～17時

場所 勤労会議室

出席 (以下敬称略) 市川、水口、後藤、踊場、多治見、芳賀、吉元、内山、小口、市原、字引、主藤、河野、
瀧下 (欠席; 打ち上げ班)

議題 1. 班報告 2. 指定席導入問題 3. 演奏会タイトル

議事要旨

市川委員長の冒頭挨拶: オリンパスホールでの2回目となるが前回同様是非成功させよう。前回経験も踏まえ改善すべき点は改善し各班の積極的な提案をお願いしたい。団員一丸となって取り組んでいけるよう、雰囲気づくりにも留意していきたい。

1. 班報告

①プログラム・印刷班 (資料あり、報告者; 内山)

- ・チラシは「水のいのち」演奏会 (4月13日) に間に合うよう進める。内容は2月中に固める必要あり。
- ・チケット納品は5月末目標とする。
- ・上記ならびにプログラム原稿作成タイミング等を含め、作業計画を見直し次回委員会にて改めて紹介する。
- ・この種の演奏会プログラムとしては広告ページが多過ぎるのではないかとの指摘あり。これについては、一方で広告収入確保の必要性があり、広告ページ削減は容易ではないとの意見が出された。

②構成・演出班 (踊場)

- ・「男声合唱をじっくり聴いていただく」および「遊び心、癒し、楽しさ等を感じていただく」という要素を効果的に組合せ、お客様に大きな満足感と明るい元気をもって帰っていただく、という基本は今回も踏襲する。
- ・オリンパスホールの特徴を活かした演出にも留意する。
- ・音楽を聴いていただくことを基本にすえつつ、ステージの特徴に応じ「音楽」をより活かす形で、MC、照明、映像、振付などを効果的に織り込みたい。
- ・振付については、音楽が一部おろそかになったのではないかという前回反省、団員の高齢化等も踏まえ、内容を吟味したい。
- ・ステージ順については今後検討し必要に応じ提案したい (特に日本の歌および民謡の位置づけ)。
- ・東日本復興支援は今回も織り込み演出にも活かしたい。
- ・民謡ステージの衣装については、「蔵元」から法被を借りられないか、併せて広告主になってもらえないかを検討したい。
- ・以上も踏まえ、演出基本プランを引続き検討の上、2月に報告する。

③広報・集客 (芳賀)

- ・マスコミ対応について工夫していきたい。→ニュースリリースの積極活用、CATVの効果的活用等々について意見が出された。

④会場・庶務班 (小口)

- ・協力をお願いする対象としては、前回協力団体+前回委員会で出た花野会等新たな団体には是非働きかけていきたい。
- ・指定席問題が決着次第、体制・必要人員等を詰める。
- ・当日総括リーダーの選任については検討中。
- ・開場前4階ホール入口オープンタイミング、開場時間等については、ホール側I氏 (貸館責任者) はエルデのニーズに沿った柔軟な姿勢を示してくれている。実務担当者の姿勢も含め引続きフォローする。

⑤広告 (字引)

現時点で、前回件数の8割程度は今回も見込める。その他の継続案件、新規も含めアプローチの上、前回広告収入+αを目指す。

⑥打上げ (欠席のため、依頼されたメッセージを後藤より紹介)

打上げ会場を探索中。

⑦会計 (主藤)

- ・前回委員会報告通り、1月中に参加費集金袋配布、2月～8月に集金予定。
- ・集金袋配布の際、定演の概略計画を整理の上、団員に説明する。
- ・健康上の理由等止むを得ない理由で一部ステージにしか参加できない場合の参加費については、前回定演同様「1または2ステージのみの参加は半額〔17,000円〕」とすることを確認。

2. 指定席導入問題（事前送付資料あり、吉元）

資料に基づき、全席自由席、一部指定席、全席自由席の3ケースにつき、利点、欠点、課題等の説明があった。様々な角度から意見交換がなされたが、次回委員会にて引続き協議（チケットの有料販売のあり方も含め）することとした。なお、表明された意見例は下記の通り。

①長時間整列に伴う問題について

- ・エルデの演奏会は長時間並ばないと立見になってしまう、ましてやちゃんとした席に付けないという見方（不満）を聴いている。これへの対処は必要。
- ・長時間並んでも良い席をとりたいか、良い席ではないことを覚悟して遅く来るかは、年齢に関係なく本人の選択の問題である。
- ・早く来る人でも整列時間はせいぜい1時間程度。
- ・対応策の一つである「整理券」配布については、それでも早くこなくては整理券がもらえない問題は残るか。実際の入場管理実務（スペース含め）に問題ないかの検討も必要。

②指定席の導入について

- ・一部指定席の導入により、長時間整列に伴う問題の軽減に繋がる。
- ・指定席であっても早く来る人もいる。
- ・導入するなら全席指定あるいは特定フロア全部の指定の方が良い（団員への配布方法、会場整理負担等）。
- ・全席指定の場合は席によるランク分けをすべき
- ・現在でも出演団員数を超える会場整理班が必要とされ、これがさらに増加するのは異常。
- ・指定席導入により面倒さが増加する（チケット配布方法、会場整理等）。全席自由の踏襲が良い。

③チケット代金

- ・指定席は原則有料販売とすべき。対価を払ってでも良い席を確保したい人に売る。
- ・指定席をバラマキ的配布方法だと弊害（空席 etc）が出る。
- ・指定席、自由席の同一価格はおかしい。
- ・ホール使用料増加回避のために、指定席 1,000円、自由席 1,000円マイナス α (ex500円)というのは、最近のエルデ入場料推移（全席自由 1,500円→1,000円）からみて、あまりに安売りイメージがあり問題。
- ・有料販売&代金振込の場合コストが300円位かかる（手紙による案内、チケット郵送料含む）。自由席チケット代が数百円の場合は団への収入が名目的レベルになってしまう。

④その他

オリンパスホールでの今まで指定席実例は9件（内一部指定が2件）あったと聞いている。（→この件ならびに他の事例につきさらに調査する。）

3. 演奏会タイトル（資料なし）

- ①今回も「東日本大震災復興支援」を掲げる。継続性、忘れていないことの発信が大切。併せて「エルデ創立30周年記念」も含める。
- ②上記にさらに何らかのキーワードを加えることも検討する。

以上（文責 後藤）

次回実行委員会 2013年1月12日（土）15時～17時、於 勤労会議室